

第54回 安全大会 会長挨拶（2026年6月30日）

第54回安全大会の開会にあたり、ご挨拶を申し上げます。会員の皆さまにおかれましては、日頃より当協会の事業運営にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

また、本日はご来賓として、大阪労働局 労働基準部 様、国土交通省 近畿地方整備局 営繕部 様、経済産業省 中部・近畿産業保安監督部 近畿支部 様、大阪府 都市整備部 住宅建築局 様をはじめ、多くの方々に、ご多忙の中ご臨席を賜っております。

誠にありがとうございます。高いところからではありますが、厚く御礼申し上げます。

さて、私たちを取り巻く環境・建設市場は、総じて堅調に推移していますが、中東情勢の緊迫化を受け、幅広い分野への影響が懸念される状況にあります。

また、私たちの業界においては、人口減少社会の中にあって、人手不足・担い手不足が深刻さを増し「働き手をいかに確保し、育てていくか」が大きな課題となっています。

こうした中、去年の「改正・担い手三法」の全面施行を踏まえ、

- ✓ 担い手の確保と処遇改善
- ✓ 適正な工期確保や工程の遵守
- ✓ 労務費へのしわ寄せ防止

といったことへの対応が、これまで以上に求められている状況にあります。業界が抱えるこれらの課題に、今、私たちはしっかりと向き合っていかなければなりません。

これまでの環境を変えることのできる良い機会と捉え、働き方改革を更に推進し、将来を担う若い世代が「やりがい」「働きがい」を感じ、「誇り」を持って働ける職場環境を築いていく必要があります。

当協会といたしましても、建設業団体への働き方改革推進の申し入れなど、職場環境整備に向けた取り組みを、今後も継続してまいりたいと考えております。

会員の皆さまにおかれましても、それぞれの職場において、引き続き積極的な取り組みをお願いいたします。

そして、これら職場環境の整備を進める上で基本となるのは、やはり、「安全」と「健康」の確保です。

今年度の全国安全週間は7月1日から7日までを本週間とし、

『多様な人材 全員参加 みんなで育てる安全職場』

のスローガンのもと展開されます。

多様な人材が力を合わせ、全員参加で安全な職場をつくり上げていくことが、今まさに求められています。そのためには、お互いを補い合う「相互注意・相互確認」を徹底していくことが大切になります。

安全基準・作業手順など「**基本ルールの遵守**」を徹底するとともに、自分の安全は自分で守る、そして仲間や家族の幸せも守るためにも、しっかりとしたコミュニケーションを図り、安全第一で作業を進めていきましょう。

また、今年も暑い日が続きます。熱中症対策においても、各職場・現場において、重篤化を防ぐための体制整備を図るとともに、しっかりとしたコミュニケーションで迅速かつ確実な運営を図るようお願いしたいと思います。

また、本日は「安全衛生 優良事業場」として 25 社を表彰させていただきます。これは、現場に関わる皆さん一人ひとりが、安全と品質の確保に真摯に取り組み、無災害の達成に尽力された成果であり、その努力に深く敬意を表します。今後も安全最優先の取り組みの継続をお願いします。

結びに、豊かなコミュニケーションのもと、しっかりとした安全意識と行動によって、自分たちの安全な職場を築いていくこと、そして、会員企業の皆さまのご健康とご安全を祈念しまして、開会にあたってのご挨拶とさせていただきます。